

◆ DOGGYM Shake!Dog Dance Competition規定書 ◆

◆ 出場資格：生後6ヶ月以上の犬。

発情犬は出場不可。

◆ 開催クラス：

スタータークラス	競技会への出場が2回未満のペアが対象となるクラス。リード付き可。
ノービスクラス（Ⅰ・Ⅱ）	競技会への出場が2回以上のペアが対象となるクラス。すべてノーリードでの演技。
アドバンスクラス	当競技会のノービスクラスⅡにて4位までに入賞したペアが対象となる。すべてノーリードでの演技。
シニアクラス	犬が10歳以上、またはハンドラーが65歳以上の方が対象のクラス。すべてノーリードでの演技。
グループクラス	2組以上で演技をおこなうクラス。 すべてノーリードでの演技。

●全クラス、モチベーター（おもちゃ、おやつ等）の使用は可能です。ただし、落とした場合は、必ず拾うなどして、次のペアの妨害とならないように配慮すること。

●クラス昇格制度について

- ・スターター2回出場したペアは、ノービスへ昇格となる。
- ・ノービスⅠ・Ⅱとも上位4位までの入賞者は、上のクラスへ上がる。
(ノービスⅠからⅡへ、ノービスⅡからアドバンスへ)

◆ ルーティンタイム

スタータークラス	1分30秒～3分
ノービスクラス	2分～4分
アドバンスクラス	2分～4分
シニアクラス	1分30秒～4分
グループクラス	2分～4分

●ルーティンの時間は最短マイナス10秒、最長プラス10秒までは時間有効とする。

●審査は犬、またはハンドラーが動き出した瞬間から始まる。

●余裕の時間を差し引いても短いルーティンは失格とする。

◆ 演技スペース：24m×20m

●最低使用パーセントは規定しないが、スペースを十分に使って演技を行うほうが高く評価される。

◆ 審査基準

■ Routine Accuracy (構成) (20点)

トリックの完成度	1~5
ルーティンの完成度	1~5
演技スペースの有効性	1~5
トリックの難易度	1~5

■ Interpretation (演出) (20点)

表現力・独自性	1~5
リズム・ハンドラーの表情、姿勢	1~5
ハンドラーと犬との一体感	1~5
ハンドラーの衣装	1~5

● 減点について

- ※ 啼みつき、吠えなどの行為
- ※ 人が犬を必要に触る、首輪をつかむなどの行為
- ※ 演技スペースからの逸脱

● 失格について

- ※ 演技スペースでの排泄行為
- ※ 演技時間の50%以上、犬が逸脱した場合

◆ 注意事項・禁止事項 ◆

- ※ 犬の身体構造から、負担となる動きを過度に採用しないこと。たとえば、身体を捻るジャンプや2足歩行など。
- ※ 小道具の使用、及び数の制限はないが、テーマから逸脱しないことと、1分以内に競技者が自分で設置、撤去できる範囲とする。
- ※ 犬は洋服や装飾品（首輪、バンダナなど）の着用も構わないが、テーマに添っていること。
- ※ チョークチェーン、スパイクカラー等の使用は不可。
- ※ ハンドラーは衣装着用すること。
- ※ 審査結果に関して、競技終了後の異議申し立ては不可。
- ※ 競技において、総合点が同じ場合は、構成点が高いほうが勝者となる。
- ※ 競技終了後、会場にて得点を掲示する。

規定の補足

規定されていない事項について、問題が生じた場合、ジャッジ及び競技会事務局の判断で決定します。